

単元名 日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) 言葉の抑揚やリズムによる音のつながり方の特徴を理解するとともに、創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために歌詞の言葉の抑揚に基づいて音を選択する技能を身に付けることができる。
- (2) 言葉の抑揚やリズムによる音のつながり方の特徴を理解し、歌詞の言葉の抑揚に基づいて音を選択する技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫することができる。
- (3) 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組もうとする。

標準的な展開例

10260104_001

【教材名】 日本語の抑揚を活用する旋律づくり (P. 32～P. 33)

【準備等】 タブレット、デジタル教科書、ワークシート

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 七五調の言葉のまとまりを感じ取り、五線譜を参照しながら短い旋律を表現する。</p> <p>★言葉の抑揚を感じ取り、旋律で表現しよう。</p> <p>○七五調の言葉のまとまりを感じ取り、リズムをつけて表現する。</p> <p>○短い歌詞の抑揚を感じ取り表現する。</p> <p>○五線譜を参照しながら短い旋律を表現する。</p> <p>2 七五調の言葉や作った歌詞にリズムや音程をつけて旋律をつくる。</p> <p>★自分で決めた言葉にリズムや音程をつけて、旋律で表現しよう。</p> <p>○身の回りの七五調の言葉や作った歌詞をさまざまなリズムで表現する。</p> <p>○七五調の言葉や作った歌詞に、言葉の抑揚を考えて線で表す。</p> <p>○言葉の抑揚に合わせ、指定された3音から選択して旋律をつくる。</p> <p>3 作った旋律を発表し、5音の旋律に作りかえる。</p> <p>★創作した旋律を広げよう。</p> <p>○作った旋律を発表し、言葉のリズムや抑揚をどのように生かしたか説明する。</p> <p>○選択する音を5音に変えて旋律を作りかえる。</p>	<p>・身の回りの七五調の言葉を探して、発表させる。</p> <p>・タブレットでまなびリンクを活用して、拍のカウントを聞きながら歌詞のリズムを確かめさせる。</p> <p>・活動2を参考にして、「青い空には 白い雲」のリズムと抑揚を関連させながら表現させる。</p> <p>・活動3を参考にして、歌わせたりリコーダーで表現させたりする。</p> <p>・抑揚や選択する音を変え、旋律がどのように変わったか自分の考えをワークシートにまとめさせる。</p> <p>【評】 旋律を変えて、どのように変わったか自分の言葉で説明する活動を通して、「知識」を評価する。</p> <p>・活動1を参考にして、教科書やワークシートに歌詞とリズムを記録させる。</p> <p>・活動2を参考にして、教科書やワークシートに抑揚を線で表して記入させる。</p> <p>・タブレットでまなびリンクを用いて、ワークシートを活用してもよい。</p> <p>・リコーダーやキーボードを用いて「ミ・ソ・ラ」の3音で表現させる。</p> <p>【評】 3音から選択して旋律をつくる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・メトロノームで拍を聴き取りながら発表させる。</p> <p>・必要に応じて、七五調の言葉をつなげたり繰り返したりして、4小節や8小節の旋律をつくらせてもよい。</p> <p>【評】 学習を生かして旋律をつくりかえる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する</p> <p>【評】 選択音を増やし、旋律をつくりかえる活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】

本単元では、七五調の短い歌詞を作り、言葉の抑揚やまとまりなどを生かして短い旋律を作る学習を展開する。「日本語の抑揚を生かした」とは、言葉の抑揚を指定された3音「ミ・ソ・ラ」の選択に活用することで、七五調の歌詞を旋律のまとまりと関連させて工夫することを目指すものである。また、旋律のまとまりは言葉のリズムとも関連するため、これらを合わせて創作表現を工夫する。

【共通事項】 音色・リズム・旋律・構成